行 政 情 報

産業振興課

TPP交渉参加抗議について

『ふるさとを守り抜く！！』TPP交渉参加に全道一丸の抗議

地域崩壊が危惧されるＴＰＰ交渉参加に抗議する全道総決起大会が７月25日、約７千人を集め札幌市中島公園で開かれた。平成22年10月、政府が交渉参加検討を表明して以来、町ぐるみで反対姿勢を貫いている本町からも関係者48人が参加し「交渉参加に踏み切った政府に強く抗議し、ふるさと北海道を守り抜く運動を強力に展開する」ことを共に決議。集会後のデモ行進では『ふるさとの危機と交渉注視の重要性』を沿道に訴えた。



▲雨の中、今金から参加する農業関係者

まちづくり推進課

河川環境保全モニター・地域交通実証調査運行等

▼当町から河川環境保全モニター１名が９月１日から委嘱されました。
▼９月２日から30日の月曜日から土曜日の間、八束・白石地区と今金町内を結ぶ交通サービスの実証調査運行が実施されております。
▼平成25年住宅・土地統計調査を実施します

河川環境保全モニターが委嘱されました

平成25年９月１日から後志利別川の河川環境保全モニターとして河野富雄氏が町からの推薦を受け、国土交通省北海道開発局函館開発建設部長から委嘱を受けました。

河川環境保全モニターとは河川環境に関する専門的な知識と豊かな川づくりに対する熱意を地域の方々の参加を得て、河川環境に関する情報の把握と環境保全、創出及び秩序ある利用をきめ細かに行うために、沿川地域に居住している方に対して北海道開発局が委嘱しているものです。

活動内容

①河川環境の保全と秩序ある利用に支障を与える行為や河川状況の異常を発見した場合に報告する。

②河川環境の保全や調和を図るための河川工事や管理に関するアイディアを寄せる。

③特に河川管理者に連絡することが必要と考えられることを報告する。

河野氏におかれては、これから清流日本一を守る活動の重責を担うことに対して、ご活躍が期待されます。



▲今金河川事務所にて委嘱を受ける河野富雄氏

地域交通実証調査運行がスタートしました

９月２日から30日の月曜日から土曜日の間、八束・白石地区と今金町内を結ぶ交通サービスの実証調査運行がスタートしました。

有限会社東ハイヤーの協力により運行するもので、実際に利用した住民の皆様からアンケート調査等により、新たに今金町のニーズに則した地域交通の構築の検討を図ることを目的としています。



▲予約状況により小型車も活用



▲バスを用意、大人数にも対応



←このステッカーが目印となります

平成25年住宅・土地統計調査を実施します

―住まいから　描く日本の未来地図―

10月１日現在で住宅・土地統計調査を実施します。

この調査は、我が国の住宅・土地の現状を明らかにする５年に１度の「統計調査」です。

今回は、東日本大震災後初めて実施するものであり、今後の住宅・土地政策に欠かせない基礎データとして活用されるほか、最近の社会・経済課題に対応するための詳細なデータとしても活用されます。

調査対象の地区については美利河地区、日進地区、町内高美町、八幡町、寒昇地区等の一部の住宅が調査対象となっております。

一定の統計上の抽出方法に基づき選定された調査対象世帯に、調査員がお伺いします。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。



加藤君のいなか暮らし「出会いと発見」日誌

地域おこし協力隊『いまかね紀行』

留学生との交流について

夏も終わり空はすっかり秋模様になってきましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて「国際交流夏のつどい」という留学生の研修旅行が道内で行われ、今金町にも5名の留学生が来たことを皆さんご存知でしたでしょうか。今金では3家庭が受け入れを行い中国から2名、台湾・マレーシア・タイから各1名の学生さんが1週間、町民との交流や農業体験をしていきました。今回は、今金町に来ていた留学生二人と食事をする機会があったのでそこでの会話についてご紹介したいと思います。

その二人の留学生は東京と名古屋の学校に在籍をしているということでした。日本で餃子といえば焼き餃子が定番ですが、中国・台湾のいわゆる中華料理屋では焼き餃子というものはお店のメニューには無く、中国では水餃子と蒸し餃子が定番で焼き餃子は次の日に残った水餃子を焼いて食べる程度だそうです。

また日本には秋田美人・北国美人など形容され美人が多い地域と言われる場所がありますが、中国にもあるそうで色白でスラットしたような美人は中国北部に多いということでした。



△国際交流留学生と檜川小児童との交流

留学生に質問してみました

私はこの二人の留学生に尖閣問題について話を聞いてみました。二人の一致している意見は、外の世界を知らない一部の人がメディアの報道に踊らされている。隣国同士なぜ仲良くできないのだろうと思っている人が大半だと言っていました。二人に日本に来てから日本のイメージは変わったか聞いたところ、日本人は礼節をとても重んじていて、おもてなしの心を忘れない。中国・台湾はそんな日本の精神文化を見習わなければいけないと思うと話してくれました。北海道を訪れるアジアからの旅行者は年々増加しています。そんな旅行者に対し私たちが日本のおもてなしの心を忘れずに接してあげることが多くの国際問題を解決する糸口になるのではないでしょうか。

今金町では、今回の国際交流夏のつどいやニュージーランドとの交流事業など国際交流を経験できるプログラムがあります。興味のある方にはぜひ参加をして頂き、日本のそして今金町のよさを海外の人に伝えてもらい、又海外の文化にも触れて頂きたいなと思っています。

交流人口を増やせ！

今金町人流創生プロジェクト

札幌国際大学受入事業　今金を探ろう！

今金町と観光における地域連携協定を結んでいる札幌国際大学の大学生が8月7日から9日にかけ来町し、これまでのワークショップで作成してきた町の魅力発掘プログラムを学生自身が実体験し、検証を行う事業が行われました。今回の大学生の検証結果については、今後のプロジェクトにおける体験プログラム作成のための具体的なアイデア・ヒントとして活用し、完成した体験プログラム（田舎暮らし体験や農業体験）は町外から人を呼び込むための観光ツールとして活用していく予定です。

1日目　日本一の清流・後志利別川の魅力と秘湯奥美利河温泉



▼奥美利河温泉に宿泊した学生たち

大学生が来町して最初に体験していただいたのが「日本一の清流・後志利別川」。ゴムボートによる川下りと砂金堀で体験していただきました。町民であっても実際に経験した方は少数である川下りですが、体験した大学生からは結果として、町滞在中最も好評を得たメニューでありました。

そして宿泊は「秘湯」として知られる奥美利河温泉。物や情報のあふれた都会とは違う自然にあふれた空間は、大学生にとっても逆に刺激的であったようです。



▼最も人気だった川下り体験

2日目　農業体験・フィールドワークを通じた大学生からの今金流「おもてなし」

2日目は町内を農業体験・フィールドワークを通じて探り、食材を集め、その材料を用いてのポテサラ調理実習とオリジナルメニューを作成しお世話になった方々を招き食事会を行いました。夜にはホームステイをして交流を深めてもらいました。

主幹産業である農業体験、今金の自然・産業・歴史・福祉を学ぶことで今金町全体を把握してもらったうえで、学生から今後の町づくりにおいての意見やアイデアをもらうという趣旨で行われました。

3日目　体験を通じてお土産を持ち帰ってもらうプログラム

3日目は、有機農法についての講義と有機農法で作られた野菜の収穫、ブルーベリー畑が出来るまでの話とブルーベリー狩り、菌床しいたけの栽培を学び、しいたけをお土産に持ち帰るという、従来のお菓子などの加工品等を購入してお土産にするのではなく体験を通じて収穫した物をお土産に持ち帰ってもらいました。

2泊3日は今金のすべてを紹介するには短すぎる日程ではありましたが、参加学生には札幌に帰った後も今回の事業についてのレポートを参加学生にまとめてもらい今金に送ってもらいました。そのレポートは今後の田舎暮らし体験プログラムを作成していく上での参考として使用していきます。9月には札幌国際大学主催のマチ観フェアが札幌の地下歩行空間にて行われる予定で今金町も町のPRの為参加する予定です。今後も札幌国際大学との連携事業は町の発展を見据えて続けていきたいと思っています。皆さんご期待ください。